

「まさか皇女殿下の体を自由にできる日が来るなんて
おじさん思わなかったよ」

「なこれ！体が動かせない……………」

「体だけじゃなくて、感度もいじることができるとだよ
ホラ。こうやって乳首いじるだけで体が跳ねているよ。」

「アッ！
こんなの痛いだけよ！ばかぁ」

「ホントかなあ？
下のほうに汗じゃない液体で濡れてるけど」

「いつこの思い通りになんかっ……………」

「ホラホラ！……ことか
気持ちいいんじゃないかな？」

「無視はかなしいな
命令だ。声を我慢するな！」

「耐えなきや」

「イグウウウウウウウウウウウウ！！」



「イッた直後にローターとバイブ責めはどう?
共振してすごく響くでしょW」

「ごんなの.....あ.....」

「そんなこと言っただって体は嘘つけないぞ
お○んこびしょびしょだよW」

「うああああ!!動かすなあッ」

「次はクリを吸引するおもちゃを使ってみよう!おしっこの穴
に管を通して押し上げてあげるとさらに気持ちいいんだよ」

「少し慣れたところで吸引力を強に!!」



「イキ潮で手がびしょびしょになっちゃったよ
舐めて掃除してねw」

「イってないし！
…しよっぱ…」

「イクウ!!って言ってたけどww」

「イってない!!」

「かたくなだなあ。まあでも本番はここからだからね」

「は？」



「今からこれで膣をかき回してやる」

「ぞ、そんなの入らない、壊れちゃう！」

やばい……こんなの挿れたら
絶対さもち良い……!





「そろそろそれも脱ごっか」

「はっ……」

「では、リゼ様の初めてをいただきま〜すっ」

「ふーふー」

「おほっ！
キツキツロイヤルマンコあつたけえ〜」

「……」



「また入れて〜」

「……」



「ゆ〜っくり抜いてって
子宮が吸い付いてきて抜けないよw」

（抜くときカリが引つかかって……）



「こんなところまで入っちゃったね」

（おっ大きすぎるっ！一番奥まで届いてるっ！
コレやばいっ）



「あゝいゝわ」



「お？起きた？皇族なのに品のない喘ぎ声だなw」



「イグウウウウ！！」

「オラァ！
臆にだすぞお！！」



「おほお
めっちゃ出たわー」

おんおんおん

ハッ

ハッ
ハッ

ドマッ



「なんでえり今出したばかりなのだっ」

クッ

ハッハッハッ



「これからもっとひいひい言わせてあげるからねっ」

「えっ？」

ハッ

ハッハッハッ

ハッ



「一回留したくらいで終わるなんて
考えが甘いぞおー」

10%
3%

10%
3%

「完璧におじさんの形に変えてあげるからね！」

(やばいーさっきからずっと
イキっぱなしでおかしくなっちゃった)

18%
3%

た
ぽ

た
ぽ

た
ぽ

た
ぽ

た
ぽ

3時間後

「お掃除フェラまでしてさあんなに
感激だなぁ〜」

(こんなえっちなされたら
普通に戻れなくなっちゃう！)























